

REFLECTION 呪縛の絆 (2002)

メディア 映画
ジャンル サスペンス
製作国 日本
色彩 Color
時間 70分
初公開日 2002/03/02
公開情報 h. m. p.
映倫 R-15

【解説】

ベストセラー作家、勝目梓の原作『呪縛の絆』を、「富江 replay」の光石富士朗監督が映画化した官能サスペンス。主演はCMやグラビアで活躍している木内あきら。初の濡れ場にも果敢に挑戦している。巨額な遺産を相続することになったヒロインの周辺で連続する謎の殺人事件と、その裏に隠された驚くべき真実を描く。

嵐の夜、時田家の主、時田修造が何者かによって惨殺される。その結果、莫大な遺産がすべて長女の久美に相続されようとしていた。修造の妻は十年前に事故死しており、次女の道子は心の病気を抱えていたためだ。捜査を担当した刑事・井川は唯一の相続人となった久美に疑惑の目を向ける。しかし、久美にはアリバイがあった。さらに、事件を目撃していた隣家の青年・秋山健吾の証言も久美に有利に働いた。やがて、健吾は久美の魔性の魅力に抗いがたい欲望を感じる。惹かれ合う二人。その頃、第二の殺人事件が発生した。

【クレジット】

監督	光石富士朗	
製作	芳賀吉孝	
制作統括	菅野賢司	
企画	芳賀吉孝	
プロデューサー	杉田薫	
	阿部一夫	
原作	勝目梓	(『呪縛の絆』祥伝社文庫刊)
脚本	木田紀生	
脚色	鈴木則文	
撮影	村石直人	
美術	坂本享大	
音楽	遠藤浩二	
出演	木内あきら	時田久美
	比留間由哲	秋山健吾
	中村愛美	時田道子
	でんでん	
	久富惟晴	
	島田洋七	
	野貴葵	
	岡田東己	

大上祐美子
植村美穂
篠原愛実
石坂良磨
高師大貴
シベリア文太 Siberia Bunta
西村萌
高杢禎彦
笑福亭松之助
野村祐人 Eugene Nomura
細川ふみえ
真理アンヌ
清水紘治 刑事・井川